

演題

- ・今臨床に求められる硬質レジンを考える
- ・硬質レジンの多様性

抄録

私達に馴染み深い光重合型硬質レジンを改めて考えてみる。

何が臨床に必要かと、今回は特に材料に求めたい所をクローズアップしました。

例えば、

- ①どのような症例でも確実にシェード表現したい
- ②試適後のシェード変更を簡単にそして確実に仕上げたい
- ③形態修正時レジン表面にできた気泡（マージン部も切端部でも）は、
簡便なステップで色調同化をはかり研磨剤（ルージュ）の入り込みもなく
ブラッシングにも力強く対応できる美しい硬質レジンを作りたい
- ④艶がもっと長期間安定し、レジンの吸水性をも軽減可能な材料で
前歯部で評価される技工がしたい
- ⑤経営面から考えるとレジンの使用期間を気にすることなく（廃棄処分することなく）
すべてを使い切る。材料ストックの省力化をはかりたい、等々様々あります。
これらを審美とラボ経営の基点から考えての材料選択と技工方法とは、と
もう一題、硬質レジンの多様性として私が考案しました審美への新たな取り組みス
プリント材（ナイトガード）にリテンションと接着を求めて硬質レジンの新しい審美領
域の展開についてお話いたします。

以上よろしくお願いたします。